

「投信インターネット」のサービス提供にあたり、お客さまの情報等を保護するために以下のセキュリティ対策を行っています。

① 128ビットT L Sの暗号通信方式を採用

T L Sとは、インターネット上でデータ通信を行う際に利用される暗号通信方法の一つです。「投信インターネットサービス」では、そのなかでも、現時点で最も解読が困難といわれている128ビットのT L S方式を採用しておりますので、インターネット上でのお客さまとの情報のやりとりは安全に行えます。

※2021年12月現在 T L S1.2採用

② 複数パスワードでの本人確認

「投信インターネットサービス」では、ご利用の都度「ログインID」および「ログインパスワード」によりお客さまを特定します。更に取り引時には「確認パスワード」で再度本人確認を実施します。

なお、「ログインパスワード」および「確認パスワード」は、お客さまご自身で設定していただけます。

また、設定されたパスワードはお客さまのご希望により、いつでも変更していただくことも可能です。

③ ソフトウェアキーボードの導入

ソフトウェアキーボードとは、画面上にキーボードを表示してマウスで画面上のキーをクリックすることで、パスワード等を入力するソフトです。キーボードからの入力情報を盗むキーロガー型のスパイウェアに効果があります。

④ 自動ログアウト方式を採用

「投信インターネットサービス」操作時に、一定期間以上端末の操作をされずに放置した場合、第三者による操作防止のため、自動的にログアウトする機能を採用しています。

⑤ ログイン履歴表示

「投信インターネットサービス」へのログイン後にホームページ上に過去3回のログイン日時を表示させていただきます。過去のログイン履歴を表示することで、不正利用等がないことを確認することが可能となります。